



企業の社会的責任と新たな資金の流れに関する研究会「第10回研究会」

Jポイントキャピタルの 事業紹介

2003年10月27日

株式会社Jポイントキャピタル 代表取締役 佐々木敦也

1.概要

設立:2003年4月1日
資本金:1,000,000円
代表取締役:佐々木敦也

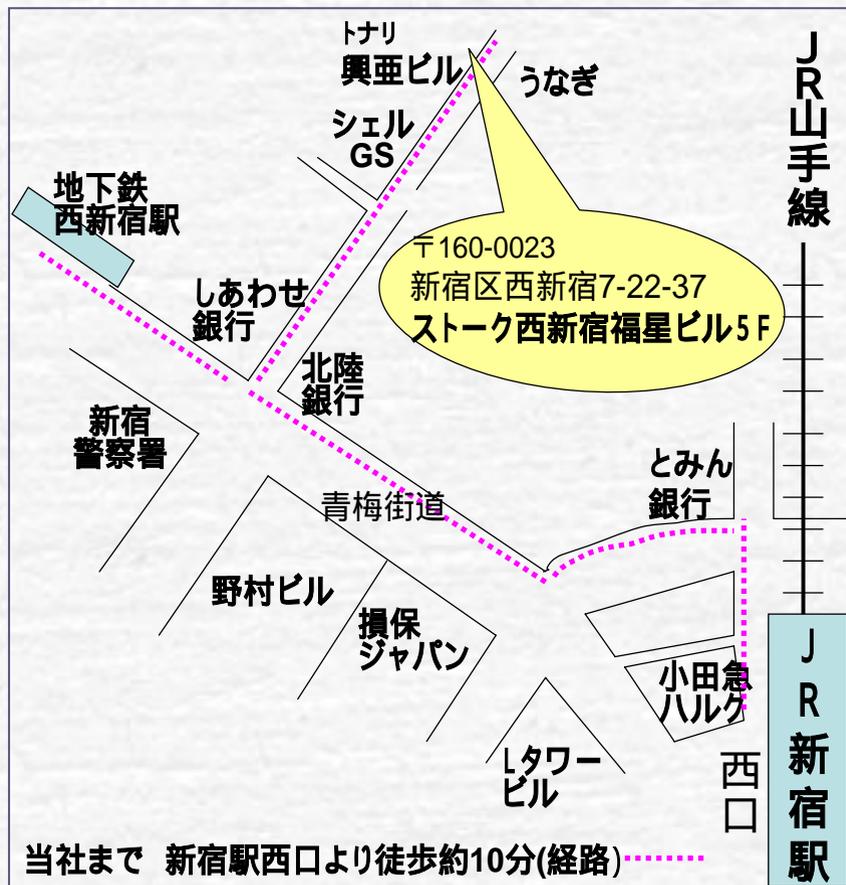
主要業務

- ・投資及び経営教育事業
- ・プライベート・ファンド事業
- ・投資及び経営コンサルティング事業

所在地

〒160 - 0023
東京都新宿区西新宿7 - 22 - 37
ストーク西新宿福星ビル5F
TEL:03 - 3366 - 115
FAX:03 - 3366 - 7561
Email:info@jpointcapital.com
URL:http://www.jpointcapital.com

<案内図>



2.問題意識

- 現在の日本は、バブル崩壊後から10年超に及ぶ不況に未だ苦しんでおり、その出口さえなかなか見つからないという閉塞感漂う状況。
- この混迷の大きな要因の一つとして、金融機関の不良債権処理問題を契機としたいわゆる「貸し渋り」と呼ばれる、従来の間接金融主体の資金調達制度自体の機能不全という問題。
- その打開策として、今こそ市場を通じた資金調達である、直接金融の時代に移行することが緊要。
- それはいままでプロと呼ばれる一部の人達のものであった直接金融を、これからは市民もなじめることが出来る世界に変えて行くことが重要。
- このような時代認識に基づき、「直接金融事業のプロデューサー」として3つの視点、すなわち1)資本主義を理解してもらう教育、2)志のあるファンドの立ち上げ、3)市民=NPOとのコラボレーション(協働)、を持ってJポイントキャピタルを設立。

3. ビジョン

- 日本で真の直接金融の時代を実現すべく、新しい価値を創造し、社会に貢献する。
- 直接金融のあり方に様々な視点からアプローチし、本質を見極め、社会変革を目指す。
- 自ら変化を楽しみ、「感謝」と「共生」の価値観を重視して、成長する。

4. ミッション

『直接金融事業のプロデューサー』

フロンティア精神と柔軟なアイデアで直接金融事業における有益な教育とファンドビジネスを市民の視点から主体的に創造する

ファンド事業の担い手となる、“資本家・投資家・企業家”の育成 - 市民による直接金融参加への基盤整備

NPO

NPOと連携 - 市民の視点による資金面でのベンチャー・産業、まちづくりの支援

Jポイントキャピタル

教育

ファンド

資金調達手段多様化に
応えるファンド事業の
推進 - 間接金融に代わ
っての金融再生・経済
活性化



5. 主な業務内容

教育事業

一般個人 企業研修 学校、それぞれへの資本家・投資家・企業家教育。講師養成研修等。

ファンド事業

不動産 ベンチャー コミュニティ PFI、等プライベート・ファンドの企画・運用・管理。

コンサルティング事業

投資及び経営に関するコンサルティング

ロードマップ

- Road Map -

2003年

2004年

2005年

2006年

2007年

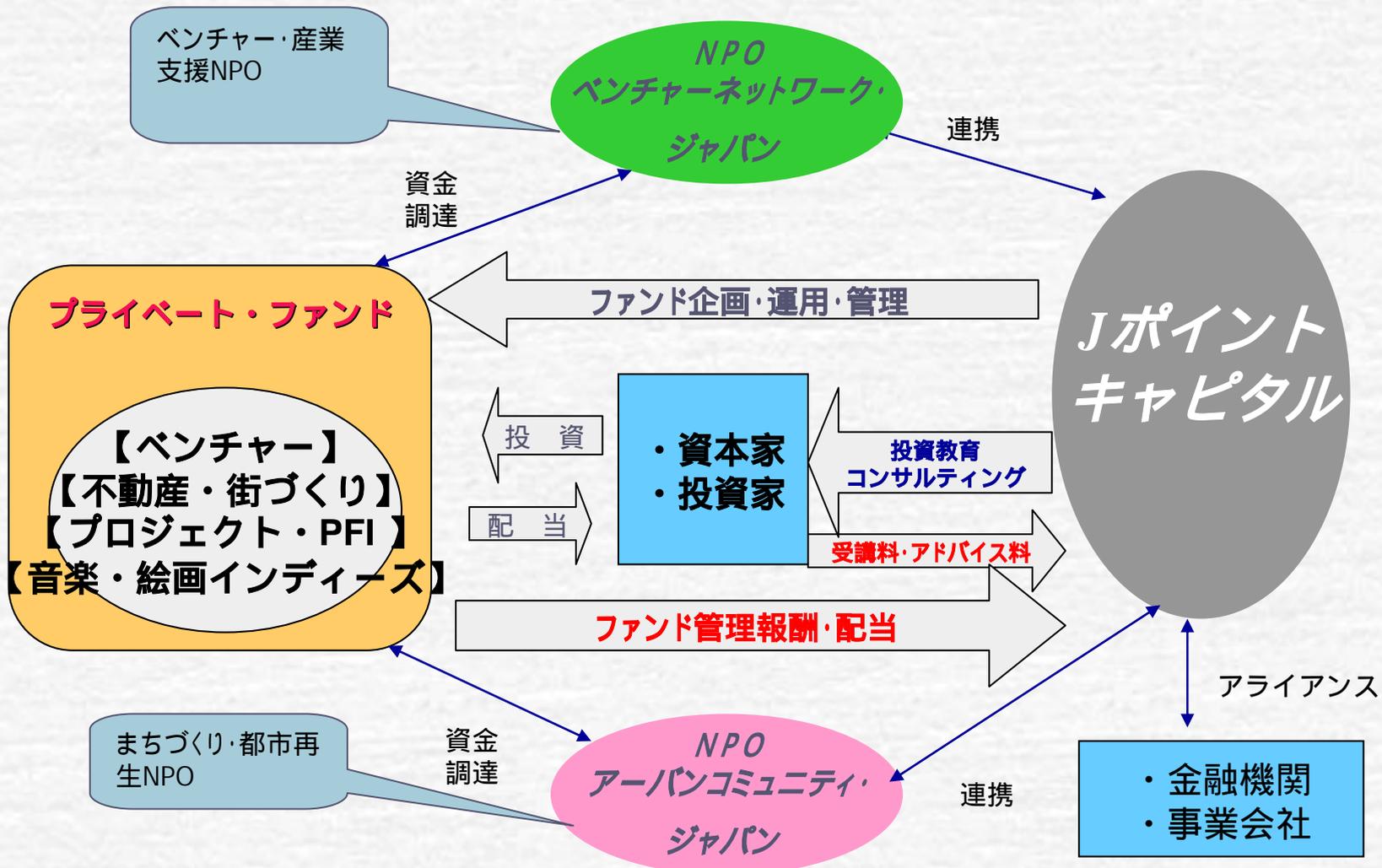
2008年

教育事業(投資教育・経営教育(ゲーム & 講義形式) 入門-基礎-応用)

ファンド事業(不動産・ベンチャー・コミュニティ・PFI)

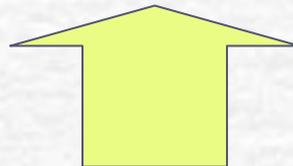
コンサルティング事業(投資・経営)

6. ビジネスモデル(戦略図)



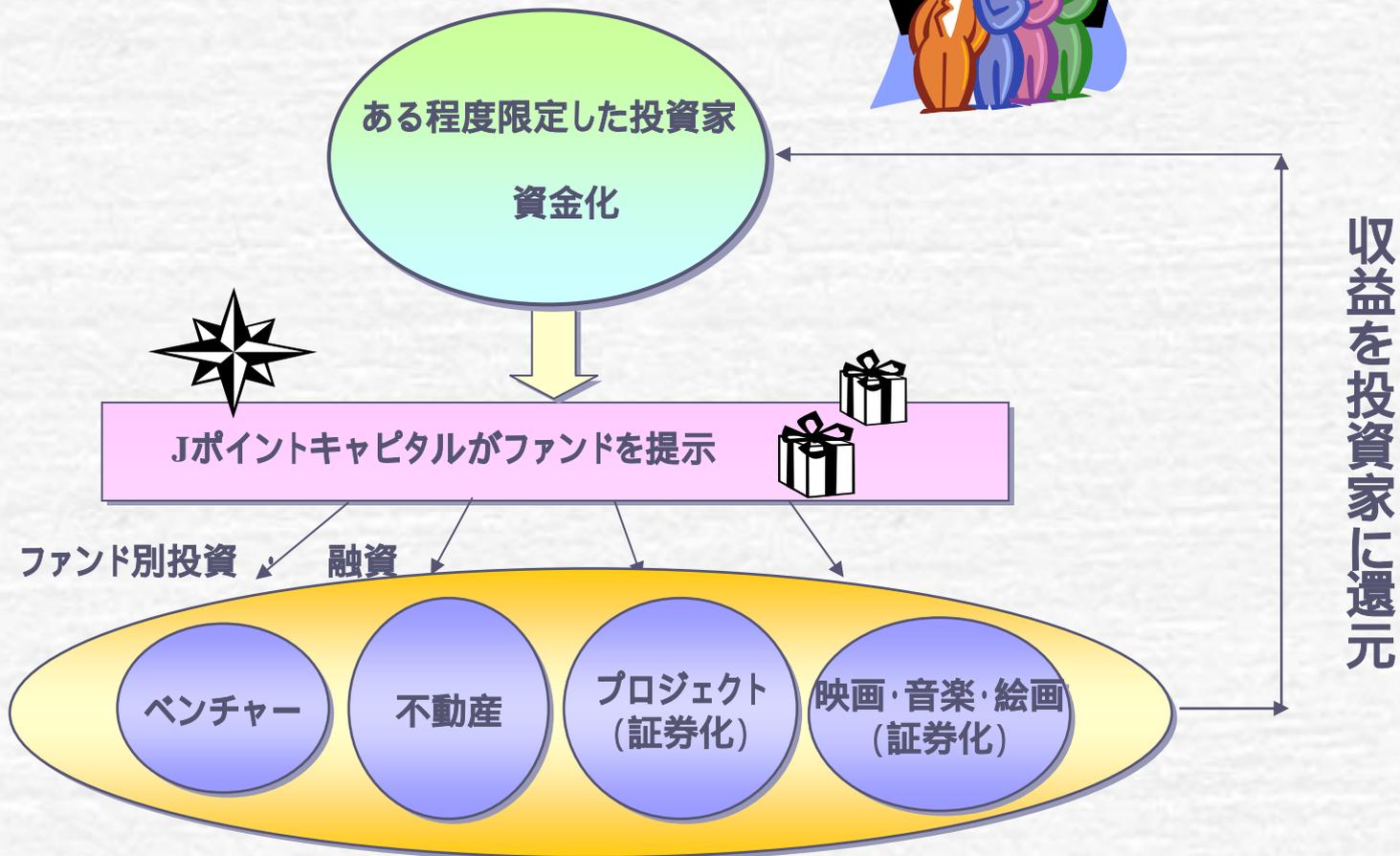
7.ファンド事業

- 不動産投資ファンド
- 街づくりファンド
- コミュニティ・ビジネスファンド
- ゲームソフト開発ファンド

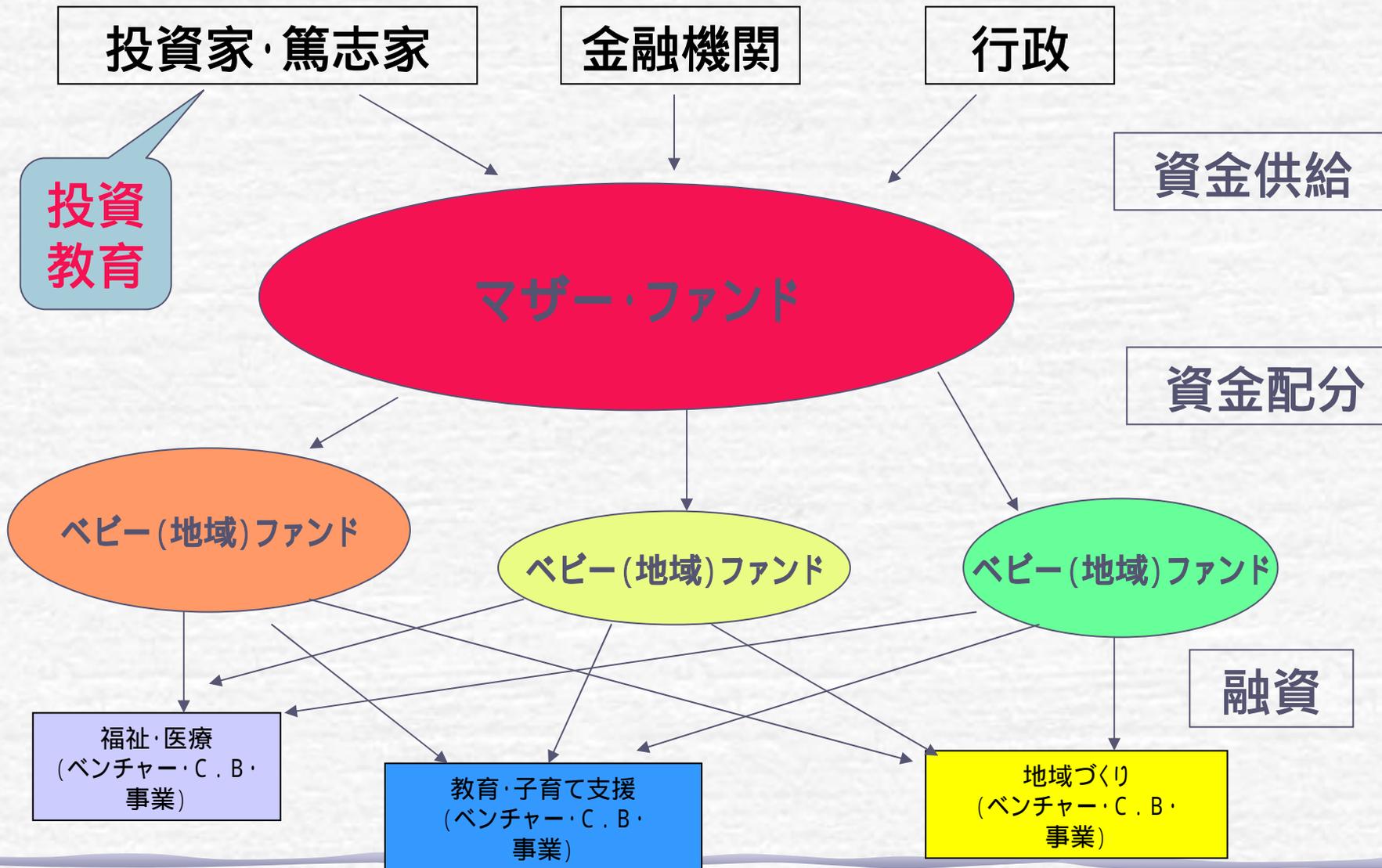


JPCのポジション: 銀行、証券会社、ベンチャーキャピタルが思いつかないあるいは思いついても参入しにくいユニークかつ社会貢献性の高いファンドを創設すること。

(参考1) プライベート・ファンド



(参考2) コミュニティ・ビジネスファンド





広がるファンド・ビジネス

- 社会経済的ニーズ(直接金融)の高まり
- 企業のB/Sマネジメントの必要性
- 資本家・投資家の投資・出資ニーズ
- ファンド・プレーヤーの充実